

事業所名

児童発達支援 とちの木豊岡

法人（事業所）理念		私たちは、さまざまな個性や特徴を持ち、それぞれの発達段階にあるお子様とその家族が、等しく豊かで安心して生活できる社会の実現を目指しています。地域に愛され、信頼されること、関わる誰にとっても良き居場所をつくります。	
支援方針		利用児の個々の心身の状況を見極めながら、特性を活かした集団（および個別）療育を行い、活動を通して身体や心の成長をサポートしていく。 職員の専門性を活かし、ともに協力し成長し合いながらより良い支援をめざす。	
営業時間		9時30分から17時00分	送迎の有無 あり なし
支援内容			
本人支援	健康・生活	毎日のバイタルチェック、ボディチェックを行う。また家庭からの申し送りなどを職員全員で確認し、排泄や食事の支援を行う。体調や特性をみながら、利用児が安心して過ごせるような環境を整えていく。また生活リズムを整えたり、協力動作などを促して日常の生活動作の習得をめざす。	
	運動・感覚	感覚遊びや手先の運動、粗大運動などを通してさまざまな感覚や経験を積み重ね、心身の成長や発達を促す。姿勢保持や感覚過敏などの個々の特性をみながら無理のない姿勢や活動の参加を促し、楽しく活動に参加できるように配慮する。	
	認知・行動	絵カードや実物などを見せながら声掛けを行い、さまざまな活動内容に興味や関心を向けるように工夫する。朝の会や帰りの会、主活動など繰り返し行うことで、見通しをもって安心して意欲的に活動に参加できるように支援する。さまざまな遊びや活動、行事などを体験しながら、興味関心の幅を広げていく。	
	言語 コミュニケーション	言葉や発声、視線、表情、体の動きなどから利用児の意思や気持ちがあくみ取れるように支援する。また他者とコミュニケーションをとるなかで、自分で意思決定することや人と関わる楽しさや喜びを味わう経験を重ねる。	
	人間関係 社会性	定期的に通うことで家族以外の人や場所に慣れて、安心して楽しめることが増える。お友達や職員との信頼関係をつくれるように、声掛けをたくさんしてふれあう機会を増やしていく工夫をする。お友達に対する適切な関わり方やその場所や状況にあったルールなどをくりかえし伝えていき、人間関係や社会性の育ちを促す。	
家族支援		家庭での様子やお困りごとなどのお話を伺いながら、相談援助を行う。	移行支援 家族に向けた情報提供をする。就学に向けて相談員や保健師との情報共有や情報交換などの連携を図る。
地域支援・地域連携		必要に応じて関係機関との連携を図っていく。	職員の質の向上 日々の支援の振り返りの時間に良かった点や改善点などを話し合う。情報共有や情報交換などを大事にして、会議などで事例の検討などをし、より良い支援を目指す。また研修などに積極的に参加し、知識やスキルの向上に務める。
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ・親子遠足 ・プールあそび ・季節の行事・制作（子どもの日、七夕、節分、ひな祭りなど） ・保育参観 ・保護者懇談会 ・誕生会（毎月） ・身体測定（毎月） ・避難訓練 	